

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は4.26(290例)で、第3週(1月12日～1月18日)以降、6週連続で減少しており、今シーズンの流行は終息に向かっています。
なお、今シーズンのインフルエンザ発生状況を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.24(51例)で、前週 0.88(36例)に比べ増加し、過去5年平均値を上回っており、本年度で最も多い報告数となっています。
- ・ 伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.20(8例)で、過去5年平均値を上回っています。例年、年の初めから7月上旬にかけて増加する傾向にありますので、今後の発生動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年10月から12月末までの間、AIDS患者 2例、HIV感染者 3例の計5例の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

ありません

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

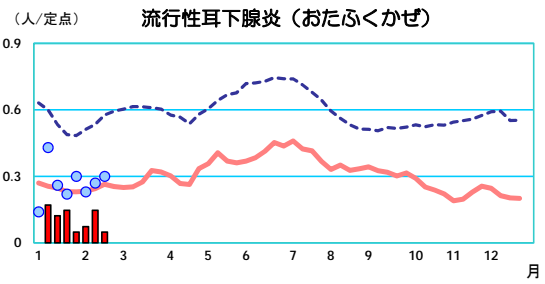
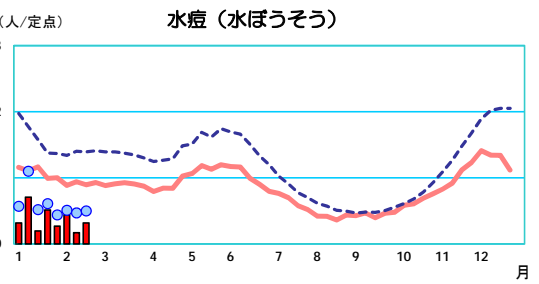
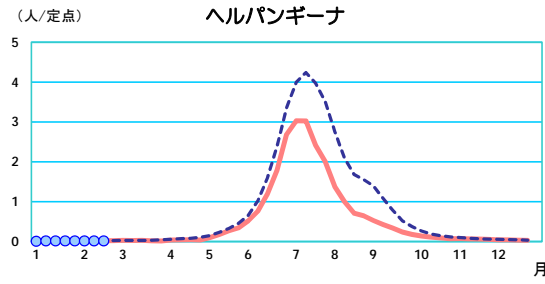
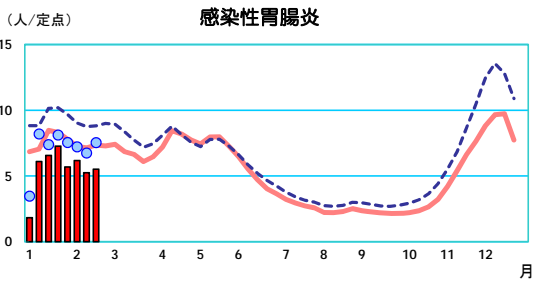
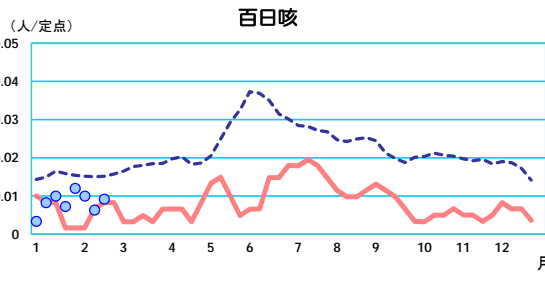
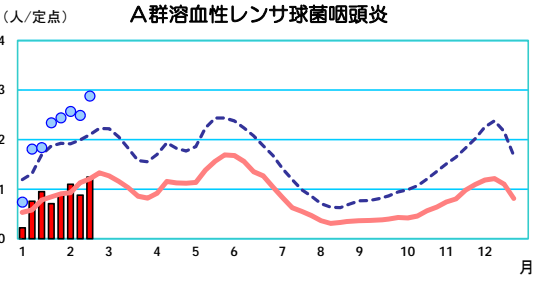
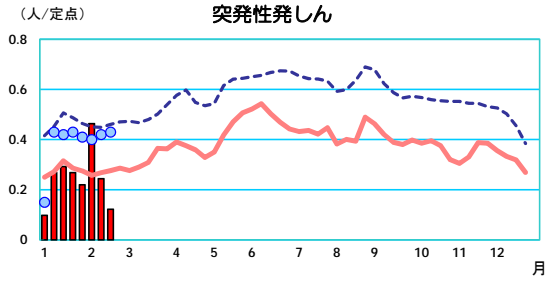
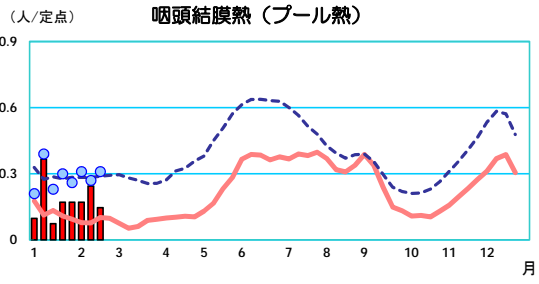
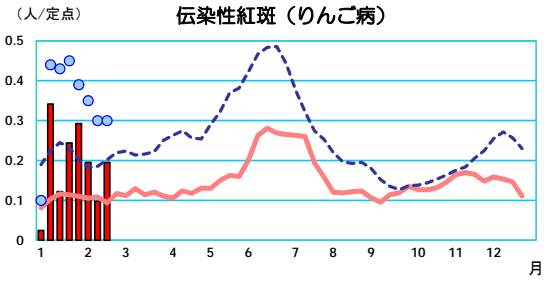
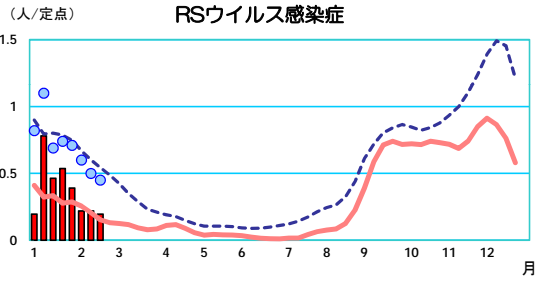
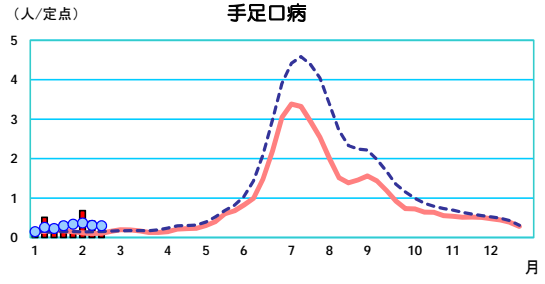
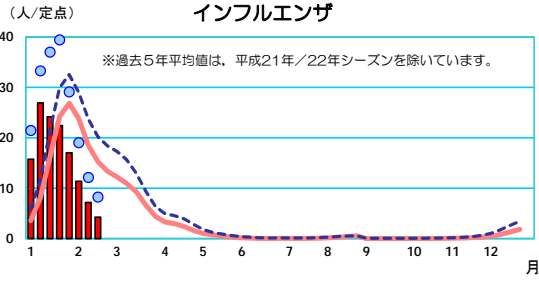
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	4.26	290
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.51	226
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24	51
	③ 水痘	0.32	13
	④ RSウイルス感染症	0.20	8
	④ 手足口病	0.20	8
	④ 伝染性紅斑	0.20	8
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年2月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第8週(2月16日～2月22日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年10月から12月末までの間、AIDS患者* 2例、HIV感染者** 3例の計5例の報告がありました。年齢・性別は男性 4例(30歳代 2例, 40歳代 2例), 女性 1例(60歳代)です。推定感染経路は性行為感染 3例(異性間 2例, 同性間 1例), 不明 2名で、推定感染地域は全て国内となっています。

平成26年の累積報告数は、15例(AIDS患者 4例, HIV感染者 11例)となり、男性 12例(20歳代 3例, 30歳代 2例, 40歳代 5例, 50歳代 2例), 女性 3例(30歳代 1例, 40歳代 1例, 60歳代 1例)でした。推定感染経路は、性行為感染 10例(異性間 4例, 同性間 6例), 不明 5例です。

平成12年以降の累積報告数は227例(AIDS患者 73例, HIV感染者 154例)となり、AIDS患者報告数が32.2%を占めています。推定感染経路では、性行為感染が177例で、このうち同性間(両性間含む)の性行為感染が105例と最も多く、全体の46.3%を占めています。

HIV感染症は、適切な治療によりAIDSの発症を抑えることができることから、AIDSを発症する前にHIV感染を早期発見することが重要となります。また、早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用してください。

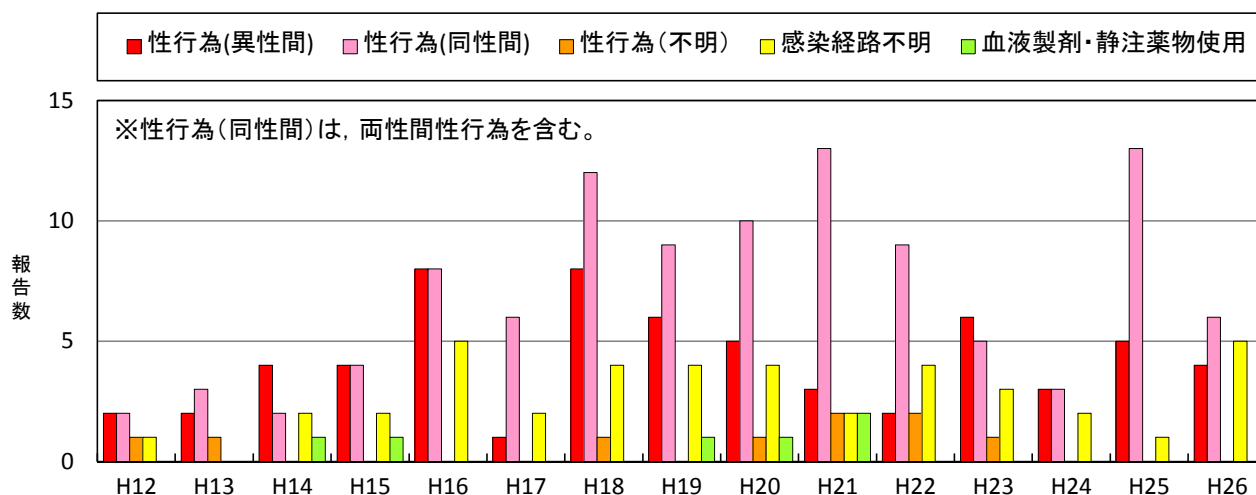
* AIDS患者 : AIDSと診断されて発生が届けられたもの。(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

**HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年	15	5	10	15	0
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	7	12	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
総計	227	73	154	209	18

推定感染経路別 年次別報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第8週

疾病,行政区別報告数

平成27年2月16日～平成27年2月22日

データ入手日:平成27年2月26日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	14	-	-	7	8	-	1	2	-	-	-	-	-	-						
上京	14	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
左京	33	3	-	9	37	4	1	1	-	-	-	-	-	-						
中京	21	-	-	4	15	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	8	3	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	20	-	-	2	4	1	-	-	2	-	-	-	-	-						
下京	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	26	-	1	1	18	1	-	1	-	-	1	-	-	-						
右京	21	-	-	15	35	3	1	-	-	-	-	1	-	-						
伏見	67	-	4	7	35	2	5	2	3	-	-	-	-	-						
西京	59	1	1	5	52	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
京都市計	290	8	6	51	226	13	8	8	5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2.00	-	-	1.75	2.00	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-						
上京	2.80	0.33	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-						
左京	4.71	0.75	-	2.25	9.25	1.00	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-						
中京	4.20	-	-	1.33	5.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.67	1.50	-	0.50	8.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	2.86	-	-	0.50	1.00	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
下京	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	5.20	-	0.33	0.33	6.00	0.33	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-						
右京	2.63	-	-	3.00	7.00	0.60	0.20	-	-	-	-	0.20	-	-						
伏見	6.09	-	0.57	1.00	5.00	0.29	0.71	0.29	0.43	-	-	-	-	-						
西京	8.43	0.25	0.25	1.25	13.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
京都市計	4.26	0.20	0.15	1.24	5.51	0.32	0.20	0.20	0.12	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第8週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年2月16日～平成27年2月22日

データ入手日:平成27年2月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	290	-	3	14	11	13	8	19	11	8	20	10	55	5	18	27	21	23	12	8	4	
RSウイルス感染症	年齢3	8	3	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	1	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	1	-	3	2	6	7	9	6	3	1	3	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		226	2	11	21	20	14	12	23	17	19	4	14	31	7	31	-	-	-	-	-	-	-
水痘		13	-	1	1	2	1	1	1	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		8	-	-	1	1	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		8	-	-	-	1	-	1	-	3	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		5	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	4.26	-	0.04	0.21	0.16	0.19	0.12	0.28	0.16	0.12	0.29	0.15	0.81	0.07	0.26	0.40	0.31	0.34	0.18	0.12	0.06	
RSウイルス感染症	年齢3	0.20	0.07	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.15	-	0.02	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.24	0.02	-	0.07	0.05	0.15	0.17	0.22	0.15	0.07	0.02	0.07	0.20	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.51	0.05	0.27	0.51	0.49	0.34	0.29	0.56	0.41	0.46	0.10	0.34	0.76	0.17	0.76	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.32	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.05	0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.20	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.20	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	0.07	-	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.12	-	0.02	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年2月26日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,643	1,523	1,158	773	487	290
RSウイルス感染症	19	22	16	9	9	8
咽頭結膜熱	3	7	7	7	10	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39	29	37	45	36	51
感染性胃腸炎	269	298	233	253	215	226
水痘	8	21	11	18	7	13
手足口病	10	16	5	28	17	8
伝染性紅斑	5	10	12	8	4	8
突発性発しん	12	11	9	19	10	5
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	2	-	3	1	1
流行性耳下腺炎	5	6	2	3	6	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	-	5	3	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,017	1,946	1,490	1,172	805	618

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	24.16	22.40	17.03	11.37	7.16	4.26
RSウイルス感染症	0.46	0.54	0.39	0.22	0.22	0.20
咽頭結膜熱	0.07	0.17	0.17	0.17	0.24	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	0.71	0.90	1.10	0.88	1.24
感染性胃腸炎	6.56	7.27	5.68	6.17	5.24	5.51
水痘	0.20	0.51	0.27	0.44	0.17	0.32
手足口病	0.24	0.39	0.12	0.68	0.41	0.20
伝染性紅斑	0.12	0.24	0.29	0.20	0.10	0.20
突発性発しん	0.29	0.27	0.22	0.46	0.24	0.12
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	0.05	-	0.07	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.12	0.15	0.05	0.07	0.15	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	-	0.50	0.30	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	1.00	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	33.36	32.79	25.13	22.45	15.14	12.26

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。